

～湘北地区の人口と（世帯数）～

鶴が台	5,549	(2,585)
香川	11,476	(4,273)
松風台	1,561	(595)
甘沼	5,323	(2,074)
みずき	1,533	(531)
湘北地区	25,442	(10,058)
茅ヶ崎市	90,949	(231,007)

平成20年2月1日現在



発行者 湘北地区社会福祉協議会
 会長 青木 有俱
 TEL (0467) 52-6330
 (平成20年2月1日現在)
 湘北地区 世帯数 10,058世帯
 人口 25,442人
 印刷所 有限会社 仲手川印刷
 TEL (0467) 85-2718
 発行部数 8,700部

新しい一歩を踏み出した今年の活動

湘北地区社会福祉協議会
 会長 青木 有俱



「地域福祉の新しい一歩を踏み出しましょう」としてスタートした今年度の事業も、この広報発行によりほぼ順調に終了の運びとなりました。これも理事・評議員はじめ地域の皆様のご協力の賜と感謝しております。詳しい活動についてはこの広報のそれぞれの記事をご覧ください。今年度新たに取り組んだものだけでも、地区社協ホームページの立ち上げ・ボランティア入門講座の開催・地区の福祉マップづくり・ボランティアセンターでの湘北はっとラインがあり、また地域社協活動でも、一社協のほほえみサロン・甘沼社協のサロン立ち上げもありました。湘北地区のこのような活動は市内でも注目されるものとなっております。市や県の活動事例紹介でもとり上げられました。

これからも高齢化が徐々に進む中で、地区社協の活動に求められる役割も大きくなってきます。地区内各自治会役員・民生委員・ボランティアの方々などのご協力で、住みよい地区にして行くことができると幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

第19回
 香川公民館
 まつり
 11月3日(土)
 ~4日(日)

今年も十一月三日(土)の香川公民館まつりのバザーに出展しました。

湘北地区社協では、毎年土曜日の一日だけの参加です。日曜日に比べて出店数も少なく、今年は「市民ふれあいまつり」と重なり、人出は少し寂しかったようです。でも準備の面では調理室もゆったりと使えて安心でした。



にぎわう公民館まつり

快晴で、午後からは温かい位でした。子ども達が列を作って並んだ綿菓子、水飴煎餅と大小バック入りの水飴、ウーロン茶、それにこんにやくおでんにかけての味噌は、ゆず風味のもの、田楽風味のもの。それに大小バック入りのゆず味噌と田楽味噌を販売しました。

準備は各地区からのバザー委員を中心に行なわれました。毎年委員が初体験者という地区もあります。ベテランが出てくだ

さる地区もあるので、協力して準備に当たりました。準備だけに協力してくださった方達にも大いに助けられました。来年度のバザーでは、もっと喜ばれるものをと工夫されていくと考えております。

売上げの一部は中越沖大震災への義援金といたしました。

健康づくり講座

12月4日火曜日14時より香川公民館で茅ヶ崎市立病院皮膚科掛水夏恵先生により「アトピー性皮膚炎等の予防とケア」の講演会を実施しました。平日とはいえ、関心のある方約50名の参加を見ました。アトピーとはギリシャ語の奇妙なという意味に由来しているように、花粉症と同じようにある日突然発症する厄介な病気ということが分かりました。



熱心に聞き入る皆さん

1・かゆいこと 2・特徴的なぶつぶつがあること 3・長く繰り返す(しばしば新旧の皮疹がまじる) この3つがあたり

まるとアトピー性皮膚炎という診断になるようです。汎用性のあるステロイド外用剤もできるだけ強いものを使わないようご注意ください。また一般的に顔につけられる薬剤はどの部位につけても大丈夫のようです。アレルギー体質かどうかを自覚して、できるだけ刺激から避けるのがアトピー性皮膚炎から逃れる方策のようです。

ボランティア入門講座

昨年十一月に湘北ではじめてのボランティア入門講座が開かれ、二十一名(男性四名女性十七名)が参加されました。今回受講された方に感想を伺いました。

ボランティア入門講座に参加して

秋半ばの十月、毎日通い慣れた散歩コースの途中に自治会広報掲示板が在ります。「ボランティア活動を始めてみませんか?」湘北地区社会福祉協議会という掲示が目にとまりました。若い頃から消防団活動、PTA、自治会、又ライオンズクラブ活動と参加して参りました。最近地域に密着した人と人との触れあい活動は、どの様に組織化され行なわれているか、学習し、出来れば参加したいと考え申し込みました。



十一月十日、会場の香川公民館へ、会場受付では役員さんの明るい挨拶で迎えを受け心が

なごみしました。オリエンテーションは、講師の牧岡先生の実践活動の体験談や今後進む福祉の方向等分かり易い講義を受けました。第二回は「体験学習」で車いす、アイマスク、シニア体験等初めての体験学習に受講生一同感嘆の声をあげました。



皆さん熱心でした

第三回は、湘北地区で活躍しているグループの説明や紹介を頂き、最終回は研修のまとめという事で受講生二十三名をグループ分けし感想の発表を行いました。

今回の体験や学習を基に気負わず、自分のペースで仲間つくりの輪に参加していこうと受講生一同誓いあいました。

香川 小野 健

サロン訪問

おたのしみ会 — 香川社協 —

平成七年四月に結成された香川社会福祉協議会では、高齢者の皆さんがいつまでも、お元気で、ふれ合いの場を持つていただけを様に、「おたのしみ会」を開いております。



ピンゴゲームでお楽しみ

偶数月(2、4、6、8、10、12)の第3月曜日に自治会館第一会議室において、70歳以上のひとりの暮らし、特別の事情のある方で、ご自分で来場できる方々を対象に、午前中は市保健師による血圧測定、健康に関する講話、手芸、折紙等、いろいろな作品を作り、お昼はお弁当をいただいたながら、会員の方々とおしゃべり。昼食後は、ボランティアの方々のご好意により余興を楽しんでおります。毎回の余興を少し紹介して見ますと、昔話と童話・日本舞踊・南京玉すだれ・フラダンス及び

視察研修会

香川小学校(児童)の紙芝居と合唱・カラオケ・マジックショウ・大正琴演奏・又ハーモニカ演奏・人形劇・北陽中学校吹奏楽部演奏(生徒)・ピンゴゲーム等;又児童達と唱歌を歌い、踊りながら輪をつくり参加された方々に喜ばれています。

甘沼サロン

— 甘沼社協 —

二月八日(金)に新規オープンしたばかりの甘沼サロンは二十七名の来店を戴き、楽しいひとときを過ごす事が出来ました。昨年八月頃から開設準備に入り、ようやくスタッフ関係者の努力も実り初日を迎えました。今後とも是非皆さんの憩いの場として、甘沼サロンをご利用戴きます様、お待ち申し上げます。

【場所】甘沼自治会館
【日時】毎週第一、第四金曜日
午後一時～三時まで
【メニュー】コーヒー・紅茶・抹茶
お茶は無料
五十円



語らいのひととき

平成19年度の見学研修会は1月22日に行われ、23名の会員が参加して午前中に岸沢の翔の会「空と海」を、午後は中島の康心会「ふれあいの渚」を見学しました。「空と海」は心身障害者施設で、こうした施設の見学は湘北社協の研修では初めての試みでした。また、「ふれあいの渚」は開設後まだ4年の比較的新しい施設で、今回が初めての訪問でした。
「空と海」は総合援助施設で、入所施設「入道雲」、療養施設「水平線」、通所デイサービスセンター「光」、重症心身障害者活動援助施設「飛行船」が設置され、入所や通所により療養および医療スタッフによる活動援助を行っています。入所定員は約50名で、現在の入所者の内茅ヶ崎市在住の方は三分の一程度だそうです。入所者は明るく療養を受けておられ、リハビリの制作作品も明るいものでしたが、療養費負担はやはり問題で、将来は介護保険のみで済むようになればとのことでした。
「ふれあいの渚」は介護老人保健施設で、まだ新しいため外観も内部も大変綺麗です。ここは「医療と家庭の橋渡し」をモットーに利用者達の社会復帰を支援するのが主な目的で、長期療養施設とは言えません。入所定員は約130床ですが、通所、ショートステイも出来ます。入所者はその約8割が女性とのこと。施設の性格上、内部は病院という雰囲気ではなく、入

所者は種々の趣味などを楽しんでおられ、そのときはスタッフも遊び相手といった感じで接しているようです。大変近代的な施設とお見受けしましたが、ここでも療養費が問題のようで、減額制度もあるそうですが、全ての人が利用出来るようになればと思います。

福祉マップが出来ます

湘北地区社協では当エリアの福祉マップ作成を昨年から検討してきました。三月末には発行出来る見込みで、皆様には間もなくお届けする事が出来るようになりそうです。各地域社協が主催するサロンやミニデイ、又その他の活動グループ、会や身近な病院などひと目でわかり戴ける様、編集していきます。ぜひご期待下さい。

表彰されました!

11月の市社協福祉大会で湘北地区内のサロン活動3件が表彰されました。

表彰

- ★すこやかサロン
鶴が台評議員会
- ★水曜サロン
湘北地区社協後援
- ★Eラウンジシニアサロン
鶴が台評議員会支援
鶴が台団地自治会支援

湘北「ほろりとライン」開設

湘北地区ボランティアセンターでは、一人暮らしの方、高齢者世帯の方々を対象に毎週金曜日安全確認の電話をかけるサービスを開始しました。申込みの手続きが必要となります。申込みは担当民生委員か湘北ボランティアセンターへ電話で申し込みください。
電話(27)2030
月・木/10時~12時

ホームページの紹介

29号でお知らせしたホームページが昨年の10月31日に開設致しました。アクセスはYahooの「登録サイト」かGoogleの「ウェブ」から検索しても出来ますが、茅ヶ崎市社協のホームページから...
「茅ヶ崎市関係」↓「湘北地区社協」とアクセスするのが便利です。



内容はトップページの他、主な活動、地域福祉活動、福祉マップ、湘北地区ボランティアセンター、等です。また、市社協、市役所、市自治連、市医師会、ボランティア連絡会、等にリンクしています。更新は月に一回行います。

編集委員のひとこと

■今年の日銀アンケート調査で、「暮らし向きが大きく変わった」が6割以上の事。厳しい状況が全ての面で顕在化しているなか福祉社会も同じ。ゆとりのある気持で対処したいものです。
広報年2回発行に際し関係の皆様へ感謝したい。

井波

■今年から広報は年二回発行とのこと、間の悪い時に担当になったものだと思います。
大変でしたが楽しい一年でした。

吉田

■広報発行に関して、各諸団体の担当する方々の協力を頂き、年二回の発行を終える事ができました。有難うございました。

小笠原

■「湘北」の広報は2年間携わって来ましたが、素晴らしい仲間に出会って「企画」「編集」「校正」と何回か集まって、完成した時は、感無量になります。いいメンバーに感謝致しますと共に楽しい新聞作りでした。ありがとうございます。

沓澤

■魅力ある紙面をめざしながらも広報の役割を果たすことは、少し難しいことでした。手刷りの29号は、思いの外良い仕上がりで達成感を味わうことができました。

土井

■今年度は二回の発行で打合せ回数も多くなりましたが、編集長のリーダーシップのもとにスタッフの思いもひとつになって充実した時間を過ごすことができました。

古郡